

CHIBA Face to Face

2011 Spring

No.64

<http://www.ccb.or.jp>



財団法人

ちば国際コンベンションビューロー

〒261-7114

千葉県美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

TEL.043-297-4301 (代表) FAX.043-297-2753

～千葉でのMICE開催に弾み～ 千葉県の補助金制度

千葉県は、MICE開催による県内経済活性化の推進を図るため、平成23年度から、国際会議主催者に対して最大2,000万円となる大型の補助金制度をスタートします。

詳しくは、5面をご覧ください。

千葉県を代表するMICE施設である「幕張メッセ(上)」と「かずさアーク(下)」。

この他にも多数のMICE施設を有する千葉県内で、経済波及効果の高い国際会議等がより多く開催されることが期待されます。

目次 CONTENTS

- 千葉ロッテマリーンズ 西村監督インタビュー
- 平成23年度事業計画
- 補助金制度の概要
- MICE誘致情報
- MICEレポート
- 新規賛助会員の紹介
- これからのMICE紹介

Bureau Interview

千葉ロッテマリーンズ 西村徳文 監督

和
2011



平成22年、千葉を大いに盛り上げてくれた千葉ロッテマリーンズの日本一。CCB-ICでは、「和」のスローガンのもと就任1年目にして栄光を手に入れた千葉ロッテマリーンズの西村徳文監督に、プロ野球と地域との関わり、マリーンズを日本一に導いた選手への指導方法等をお伺いしました。

すばらしい街、すばらしい人たちだと思った

Q 選手・コーチ・監督として20年間千葉で活躍されている西村監督にとって、ホームタウンである千葉・幕張新都心とは。

A 千葉は好きです。落花生が大好きですから(笑)。

特徴的な街並みのベイタウンは、よく散歩しながら、雰囲気の良い街だなと思っています。

パレードでのベイタウンの紙吹雪には感動しましたが、それだけではなく、パレードの直後に街の人たちが紙吹雪をすぐに片付けたということを知った時、すばらしい街、すばらしい人たちだと思いました。準備から後片付けまで、ここまでしてくれるホームタウンは、なかなかないと思います。

ファンの皆さんの応援もすばらしく、私たちの力になり、勇気になります。

Q 監督のお考えになる、マリーンズによる地域活性化とは。

A 一番は、やはり昨年のようによい結果を残せることですが、勝負ごとなので勝ちも負けもします。もし結果を残せないときでも、何か恩返しをしたいということは常々考えています。ただ、われわれだけでは答えが見つからないので、多くの人に話を聞きたいし、教えてもらいたいと思います。

幕張を訪れる多くの人に、スタジアムにも足を運んでもらい、野球の面白さを知ってもらえるようにしたいです。



千葉ロッテマリーンズ
2011年公式戦チケット好評発売中!!

球場窓口やオンラインチケットショップ、
各プレイガイドなどでお買い求めください!

企画チケットや団体チケットなど詳細は
マリーンズ公式サイトで! www.marines.co.jp



平成23年度事業計画

国際会議観光都市*、MICE**施設、関係機関と連携して積極的な誘致活動を推進します

平成23年度は、第3次中期計画(平成22年度～平成24年度)の2年目にあたり、引き続き計画の基本方針に沿って事業を実施します。

MICE事業部門では、会議の開催や参加者の来訪等に伴う消費の増加や雇用の促進などの経済波及効果が大きく見込まれ、地域の知名度の向上、観光・産業・文化のブランド化等による地域のイメージアップ効果等が大きく、千葉県の発展、ひいては雇用の拡大、県民所得の向上等に寄与する1,000名規模以上の大型学術会議、社会影響力の高い政府間会議や民間レベルの経済会議、海外の大型企業インセンティブなどを中心に誘致をしております。

また、国際会議観光都市、幕張メッセ、かずさアーク、県内のホテルのみならず、県内の大学や経済界、会議等のテーマに応じた関係機関・団体等と連携して、チーム千葉を挙げ、国内外の主催団体等へ積極的な誘致活動を展開してまいります。

国際交流部門では、千葉県における中核的な機関として、市民レベルで主体的な活動を行う民間交流団体をはじめ、ボランティア、地域の国際交流協会、大学、行政機関等と連携を強化し、県民等による国際理解の促進、海外との良好な関係づくりに寄与する国際交流活動の推進、開発途上国等の発展を支援する国際協力活動の促進、在住外国人が地域社会の一員として県民と相互理解を図りながら暮らしやすい生活を目指していく多文化共生の実現等を図ります。

主要事業

1 チーム千葉によるMICE誘致・支援の実施

(1) 国際会議の誘致・開催目標

関係機関(MICE開催施設、千葉県、国際会議観光都市、大学等)との連携、協働によるMICE誘致活動。【目標:国際会議誘致37件、開催目標34件】

(2) 誘致拡大のための推進体制の強化

- ① 国内誘致活動
 - 大学、学会等のディビジョンメーカー (MICE開催の決定権を持つ主催者等)訪問視察受け入れ、千葉MICEサロン(主催者セミナー)による主催者との情報交換
- ② 海外誘致活動
 - 海外展示会出展(IMEX2011(フランクフルト)、IMEX America 2011(ラスベガス))等
- ③ 戦略的、効果的誘致活動を行うため、MICE情報のデータ収集及びデータベース活用と運営管理等のマーケティング活動
- ④ 国際会議観光都市との連携を図り、国内外の展示会へ出展(IT&CM China 2011(上海)、CIBTM2011(北京)、IME2011)、MICEキーパーソン等の招聘(Meet Japan 2012(県内))等
- ⑤ MICE支援事業
 - ア 助成金・貸付金制度の活用
 - 国内外競合都市との競争に打ち勝つため、新たに千葉県が創設する国際会議開催補助金の有効活用及びこれを補完するものとして当財団独自の開催助成制度(限度額2,000千円)・開催準備資金貸付制度(限度額5,000千円、3年間無利子)の適正な運用
 - イ 千葉県観光物産協会等との連携による千葉県独自の支援プログラム、アトラクションの開発・実施、新たなユニークメニュー (千葉県ならで

はの特徴あるパーティー会場等)の発掘等、競合都市との差別化を図るとともにMICEグッズ等を開発

2 国際交流・国際協力の推進と多文化共生社会づくり

(1) 中核組織としての機能強化

- ① ホームページの運営や会報の発行、千葉県外国人学生住居アドバイザー事業を通じた情報提供
- ② 外国人テレホン相談、在住外国人のための無料法律相談・無料総合相談会、サバイバル日本語講座、地震・台風・火事体験ツアーの実施等を通じた在住外国人への生活支援

(2) 多文化共生時代のネットワークづくり

国際交流ボランティア制度の運営、多文化共生を始めとしたボランティア育成や国際理解促進のための講座等の実施、様々な主体との意見交換等を通じたネットワークの形成【各種講座受講者数(目標) 国際理解促進3講座350人、ボランティア向け3講座125人】

3 「魅力ある千葉」を国内外へ発信

(1) 千葉県の有する魅力を活用した事業展開

- ① 各種媒体(機関紙「Face to Face」、広報紙「ぶらりネットCHIBA」、ホームページ、CCB-ICニュース)による広報
- ② フィルムコミッション事業(受託事業)
- ③ トラベルマート2011(受託事業)

(2) 海外向け広報活動の拡充

プレスリリース、英文E-ニュースの配信、ホームページ(英語版)を充実、強化し、MICE開催地としての千葉県の認知度向上
また、MICEに精通し、千葉県でのMICE開催メリットを理解する「Chiba MICE Ambassador」を活用した、世界へのMICE開催地千葉県の情報発信

4 大学等との連携による事業強化

- (1) 大学・研究機関・関係団体・行政との情報交換を密にすることによるMICE関連情報の早期入手、これらとの連携によるMICE誘致や国内外展示会への出展(再掲)
- (2) 地元大学や自治体国際化協会など関係機関との連携促進による多文化共生社会等への理解促進

5 公益財団法人への移行と自立型経営への転換

- (1) 平成24年度を目標に公益財団法人へ移行のための必要な手続き等の実施
- (2) 効率的な事業運営を図るための組織体制を整備
- (3) 賛助会員の獲得、市場動向を見極めた安全・確実な基本財産運用による自主財源確保の強化
- (4) 意思決定の迅速化及び経費削減
- (5) 組織内部の相互けん制の強化

CCB-IC事業計画は、ホームページに掲載予定

(*)国際会議観光都市とは

いわゆる「コンベンション法」に基づき、観光庁長官が認定するもので、会議場施設及び宿泊施設等のハード面並びにコンベンションビューローなどのソフト面からコンベンションの振興に適すると認められる市町村を認定し、当該都市に対してJNTO(日本政府観光局)が国際会議などの誘致及び開催支援等を体系的に行います。

千葉県ではこれまでに、千葉市、成田市、木更津市、浦安市が認定されています。

(**)MICE(マイス)とは

企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

平成23年度から「国際会議開催補助金」制度が創設されます。

千葉県は、国内外の各地域との誘致競争力向上を図るため、国際会議の県内誘致に対して、新たな補助金制度を創設しました。

開催地のみならず、周辺地域にも多大な経済効果が期待できる国際会議の誘致可能性が高まる中、当財団としても、今まで以上にMICE誘致推進に努めて参りますので、皆様におかれましてはこれまで以上の御支援・御協力を賜りますようお願いいたします。

【制度の概要】

●対象となる会議

開催地が未決定であり、かつ千葉県内での開催が検討されている国際会議

●開催規模により、補助額が異なります。

□参加者600人以上の国際会議

県が単独でも補助。開催地の市町村も補助する場合、市町村の補助額と同額を県も補助。

※県と開催市町村が連携することにより、最大2,000万円が補助されます。

□参加者100人以上600人未満の国際会議

県は単独では補助を行わないが、開催地の市町村が補助する場合、市町村の補助額と同額を県も補助。

【当財団の従来からの助成金・貸付金制度も継続されます】

開催助成制度

千葉県内で開催されるコンベンションを対象とし、予算の範囲内で助成いたします。

開催準備資金貸付制度

千葉県内で開催されるコンベンションを対象とし、無利息にて最長3年間、最高限度額500万円を、予算の範囲内で貸付いたします。

第10回ヘレン・ケラー世界会議/ 第4回世界盲ろう者連盟総会(WFDb)

10th Helen Keller World Conference /
World Federation of Deafblind (WFDb) 4th General Assembly

世界中から盲ろう者が集い、お互いの情報や経験を分かち合い、それを自国での取り組みに活かすための国際会議です。

また、会議を開催することによって盲ろう者の存在を啓発し、併せて盲ろう者の人権、社会参加、機会均等の促進を図ります。

2001年大会から、ヘレン・ケラー世界会議と同時に世界盲ろう者連盟総会も開催されています。

開催日：2013年5月30日(木)～6月4日(火)
会場：幕張メッセ
予定参加者数：800名(うち海外50か国300名)
経済波及効果：267,875千円(当財団試算)

IME2010

～200名以上が当財団ブースを訪問～

MICE事業の推進を目的とした、日本で唯一の総合コンベンションイベント「IME2010」が、平成22年12月7日(火)と8日(水)、東京国際フォーラムで開催されました。

今回は、平成22年9月に国際会議観光都市に認定された浦安市と協働出展。ちば国際コンベンションビューローのブースには226名ものMICE関係者が訪れ、MICE開催地としての千葉を大いにPRすることができました。



「ちばビーナッツ大使」も登場

言葉は世界をつなぐ平和の礎
神田外語大学



神田外語大学 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

本学では、各種大会・会議・イベント等での通訳、運営補助等への、学生ボランティアの派遣を行なっております。

2010年 主な実績 ()内は使用言語

- ・東京国際ユース(U-14)サッカー大会(英・中・韓・葡)
- ・ショートショートフィルムフェスティバル(英・中・韓)
- ・世界大学野球選手権(英・中・韓・西)
- ・千葉国体運営ボランティア ほか多数

※2010年9月現在

詳しくは >> <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/people/volunteer.html>

県内で開催された国際会議の主催者の皆様から、開催を終えた感想が寄せられました。

MICE レポート

音声言語処理国際会議2010 INTERSPEECH 2010

- 2010年9月26日(日)～9月30日(木)
- 幕張メッセ国際会議場
- 東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻
広瀬啓吉 教授

過去最大の参加者数で盛況

INTERSPEECHは、音声言語研究者の世界的組織のInternational Speech Communication Associationが主催する国際会議で、音声言語コミュニケーションをテーマとして毎年開催されます。日本開催は16年ぶりでしたが、40を超える国々から、過去最大の1,200名余の参加を得て、成功裡に終了しました。

幕張メッセは、設備的には最新ではありませんが、研究発表、展示等を機能的にまとめることが出来、参加者同士の交流という観点から大変良かったと思います。事実、多くの参加者から、素晴らしい会議であったとのコメントが寄せられました。パンケットなども会場近くに設定することが出来、大変盛り上がったものとなりました。

ちば国際コンベンションビューロー及び幕張メッセのスタッフの方々の親身な対応が印象に残りました。参加者が当初予定よりも大幅に増え、対応に苦慮しましたが、何とかそれを乗り越え、参加者から感謝の声を得られたのも、ひとえに、スタッフの方々のご協力の賜物であります。会議を進める上で、もっとも重要なことは、関係者の密な協力関係と改めて認識しました。その観点からも、今回、千葉で国際会議を開催し、本当に良かったと思います。ちば国際コンベンションビューローの益々の発展を期待しています。

サーフライダーファウンデーション国際会議2010

- 2010年10月9日(土)～10月11日(月)
- 鴨川市民会館
- Surfrider Foundation Japan(SFJ) 副代表 許 正憲

悲願の日本初開催が実現

Surfrider Foundation (SF)はサーファーやボディボーダーの視点から海辺の環境保護活動を行うことを目的として、1984年にアメリカで誕生しました。

日本では、1996年にSFJが発足。今回SFJは、その誕生の地・鴨川で、悲願ともいえる日本での国際会議初開催を実現できました。

会議では、水質汚染、海岸ゴミ、海岸浸食、人工構造物、教育などについて活発な議論が行われました。

日本の活動については、水質調査、海岸浸食を定期的に把握する「サーフポイントカルテ」などが海外から高い評価を受け、他の参加国からは、団体運営の難しさ、環境団体における「逆ピラミッド型」組織の重要性などについて発表がありました。最終日には、生物多様性保護における海岸環境の重要性を議論し、SFからCOP10へ向けた共同提言書の作成を達成しました。

今回の会議スローガンは「ありがとう」です。SFJは波、自然、そして友人や家族への「ありがとう」の気持ちを忘れずに美しい海を後世に残すための活動を続けています。開催にご協賛・ご協力いただいたみなさまに、成功裏に終わりましたこと、この場を借りてお礼を申し上げます。



活発な異業種交流と情報交換が行われました

平成23年 会員交流会

平成23年2月4日(金)、千葉市の京葉銀行文化プラザにおいて、当財団の「平成23年会員交流会」を開催、約160名もの皆様に御参加いただき、大盛況となりました。

観光庁岩本参事官、JCCB猪口会長からのごあいさつをいただいたほか、会員企業様のブースによるPR、新規賛助会員様の紹介、御提供いただいた商品等の大抽選会などを行いました。

今年は、商談・交流の時間を多く設けたことから、参加された皆様は、より一層活発な異業種交流及び情報交換が行われていました。

皆様におかれましては、今後も人的ネットワークの構築及びビジネスの機会拡大のため、当財団の会員交流会や主催者セミナーなどをお役立てください。



観光庁 岩本参事官



JCCB 猪口会長



盛況の交流会



チーパクくん、きみびょん、うなりくんも登場

千葉県国際交流センター
グローバルフェスタChiba開催

2月6日(日)、千葉大学西千葉キャンパス内において、「グローバルフェスタChiba ～あなたが世界のためにできること～」を開催しました。

このイベントは、当財団を含めた4者が主催。県民の皆様の国際交流・協力に対する関心を高めることなどを目的に開催し、今回で4回目を迎えました。当日は1,000名を超える来場者で会場は大変賑わいました。

「世界がもし100人の村だったら」の著者で翻訳家の池田香代子さんの講演会、テーマは「世界の一人として、今私たちにできること」。講演会やその後の「100人の村」シリーズ本の販売会とサイン会(写真)は大盛況でした。

また、県内の国際交流・協力団体の出展ブースでは、活動状況の写真展示のほか、各国の民芸品や料理の販売が行われ、多くの方が集まりました。

盛況のうちに幕を閉じた今回のグローバルフェスタChiba、これを機会に多くの方に国際交流や国際協力について興味や関心を持っていただけた、そんな有意義なイベントでした。



千葉県フィルムコミッション
「外交官・黒田康作」撮影支援



千葉県フィルムコミッションでは、映画やドラマの撮影を誘致・支援し、千葉の豊かな自然や都市景観を映像メディアを通じて、全国へ紹介しています。

今年1月からスタートした、フジテレビドラマ「外交官・黒田康作」では、ロケ地として、千葉県庁舎が選ばれ、昨年11月に撮影が行われました。

これまで本格的なドラマ等の撮影の受け入れは、庁舎の管理や執務への影響等から実現できませんでしたが、今回、関係部署の協力により、撮影することができました。

当日は本庁舎のロビーに外務省そっくりのセットも生まれ、早朝からの長時間に渡るロケに立会いました。

主演の織田裕二さんらも出演し、緊張感の漂う撮影も無事終了。本物の官公庁のロケは、放送で流れた印象もスタジオ撮影とは違い、リアルな仕上がりでした。

フィルムコミッションは、観光地だけでなく、県立施設への撮影誘致も行っており、映像文化の醸成も目的として活動しています。

千葉ロッテマリーンズかもめ会
春季キャンプ激励ツアー開催

千葉ロッテマリーンズかもめ会(代表 早川恒雄千葉銀行特別顧問)は、2月17日(木)～18日(金)に、沖縄県石垣島で春季キャンプを行う千葉ロッテマリーンズを激励訪問しました。

18日朝に中山義隆石垣市長を訪問。キャンプに先立ち石垣島でも優勝パレードが開催されたこともあり、千葉、石垣それぞれの優勝パレードの話題で盛り上がりました。

その後、今年からメイン球場が新しくなった「石垣島マリーンズボールパーク」にキャンプを訪問。早川代表から西村監督へ鴨川市で水揚げされた新鮮な魚介を激励品として贈呈し、CCB-IC会長であり、かもめ会の特別顧問でもある森田健作知事からの激励メッセージを手渡しました。

天気にも恵まれたこの日、マリーンズ戦士たちは暖かい石垣島の気候のもと、リーグ優勝と日本シリーズ優勝の完全優勝を狙うべく、汗を流して懸命に練習を続けていました。



新規賛助会員のご紹介

名称	所在地	業務内容・企業PR
京成ビルサービス株式会社	東京都葛飾区	建物・設備の管理は京成グループ企業の当社にお任せください
有限会社クリフラップ	浦安市	浦安市正式委託業者 番組・CM・記録など、映像のことならお任せください
株式会社アイ・エス・エス	東京都千代田区	国際会議を中心に、各種会議・イベントの企画運営を行います
株式会社ASPE(千葉ジェッツ)	船橋市	プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」の運営(2011年10月開幕)
株式会社千葉正直屋	千葉市中央区	四季折々の宴会にお届け料理をご用意下さい

かずさアーク

緑豊かな自然とゆとりある空間
東京から1時間、羽田空港から30分の好アクセス
ホテルオークラのホスピタリティ
リーズナブルな会議施設料金
ぜひ一度お問い合わせください。

会議施設(かずさアカデミアホール)とホテル(オークラアカデミアパークホテル)が一体化
首都圏でも有数のコンファレンス&リゾート施設が効果的な会議・研修の開催をサポートいたします。



かずさアカデミアパーク
Kazusa Akademia Park

〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9
営業部 TEL 0438-20-5555 FAX 0438-20-5139



■第7回 アジア肩関節学会

The 7th Academic Congress of the Asian Shoulder Association [The 7th ACASA 2011]

開催日 2011年7月7日(木)～8日(金)
 会場 東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート
 主催 アジア肩関節学会
 参加者見込 450人(国内300人、海外150人)
 ホームページ <http://www.acasa2011.com/>

アジア最先端の肩関節研究者が集う学会を日本で初開催



アジア肩関節学会
 筒井廣明 会長
 (昭和大学教授)

アジア肩関節学会は、肩関節外科の最先端の研究開発に携わっているアジア各国の研究者が一堂に会し、基礎研究や新技術開発に関する発表・討議を行う場です。1993年に台北で第1回が開催されて以来、3年に1度、アジア各国で開催されています。

日本は肩関節外科の研究で世界に先鞭をつけ、国際社会に情報を発信しておりましたが、アジア地域全体での肩関節治療の普及及び発展のため、過去6回は敢えて日本以外で開催していました。7回目となる今回、各国から要望されていた日本での開催が実現することになりました。

今回の学会では、近年発展著しい鏡視下での関節内視鏡治療など、新しい研究成果の発表による最先端技術の普及とより一層の発展を図るとともに、高価な医療器具の入手が困難な国・地域のため、直視下手術などの基礎にも立ち返り、過去から今に至るまで継承されてきた技術を次世代に伝えることも重要です。

浦安市舞浜地区で開催する理由は、成田・羽田ともに近く、東京都心にも近いというアクセスの優位性と、東京ディズニーリゾートが近接するなどアフターコンベンションに最適な立地であった点です。

国際的に権威あるアジア肩関節学会を国内で開催することは、国内の医師やメディカルスタッフの参加を容易にし、新しい技術を日本の肩・肘関節外科に積極的に導入する機会となります。参加者の皆様には、カジュアルで楽しい雰囲気なかで研究者相互の交流を深め、それにより新しい治療技術の世界的な浸透に寄与することができるのではないかと思います。

■第40回日本免疫学会学術集会

2011 The Annual Meeting of the Japan Society for Immunology

開催日 2011年11月27日(日)～29日(火)
 会場 幕張メッセ(国際会議場と展示場)
 (国際シンポジウム4会場、ワークショップ13会場と展示場でのポスターセッションを開催)
 主催 特定非営利活動法人 日本免疫学会
 参加者見込 約2,500名(海外より約100名)
 ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jsi2/jsi40/>

節目となる40回目を千葉で初開催



第40回日本免疫学会
 学術集会会長
 徳久剛史

近年の免疫学は、感染症やアレルギー・自己免疫病などの治療に対する新しいアプローチが積極的に展開されています。日本免疫学会は、そのような免疫学研究をおこなっている約5,000名の会員から構成されています。本学術集会は、この会員たちが一堂に集う、年に一度の研究集会です。千葉市での開催は初めてとなります。

連日開催される国際シンポジウムでは、主に免疫記憶の成立と維持、自然免疫系と疾病、自己免疫疾患への応用的アプローチ、癌治療等に向けた新免疫療法などを企画しています。さらに、「免疫システムの機構解明と人為的制御に向けて」を目指して、ワークショップ、ポスターセッション、レビュートーク、関連分野セミナー、テクニカルセミナー、クリニカルセミナー、展示会等を企画しています。

本学術集会が、最先端の研究者から学生まで様々な方々の貴重な情報交換の場となり、そこから新しい知的交流や共同研究が生まれ、今後の免疫学研究の推進につながることを期待しています。そして、そのような研究の成果から、免疫疾患の新しい治療法が開発され、国民の健康に寄与することを願っています。

幕張オフィシャルマップが新しくなりました。

最新の幕張の「遊ぶ」「食べる」「泊まる」情報を満載し、幕張新都心を訪れる皆様に好評の「幕張オフィシャルマップ」を、2011年版としてリニューアルしました。

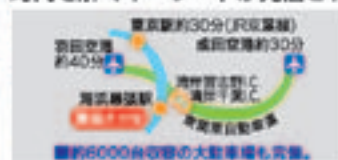
持ち運びやすいコンパクトなサイズはそのままに、千葉県マスコットキャラクター「チーパくん」を随所に配するなど、親しみやすいデザインとなっています。

1部20円で、100部からお求めいただけます。



CONVENTION・EXHIBITION・EVENT・CONFERENCE

幕張メッセは、さまざまな催事に対応できる日本有数の複合コンベンションセンターです。使いやすい「国際展示場」「国際会議場」「幕張イベントホール」の施設と機能が21万㎡の敷地に隣接。さまざまな催事から、時代を解くキーワードが発信されます。



株式会社
幕張メッセ
 〒261-0023 千葉県幕張区中郷2-1 TEL.043-296-0001
<http://www.m-messe.co.jp/>